

日本鑄造

GHG排出量50%超削減

「低CO₂鑄造品」 23年度、販売開始へ

日本鑄造(社長・鷲尾勝氏)は8日、温室効果ガス(GHG)排出削減量の第三者検証結果に
関わるISO14064-1認証を日本海事

協会から取得し、21年度
のGHG排出量が13



ISO14064-1認証の授与式
(左が鷲尾社長)

年度と同一生産量下において50%以上削減したことを確認したと発表した。同認証の取得は国内鑄造業界で初めてとみられる。今後、マ
スバランス方式を採用し、第三者機関から自社製品の「低CO₂鑄造品」としての認証を取得する予定で23年度の販売開始を目指す。
13年度比50%以上のGHG排出削減は、溶

解工程における溶解設備の変更や操業技術の改善に加え、本社・川崎工場の全照明のLED化・太陽光パネルの導入、非化石証書使用の電力の導入などの再生エネルギーの活用といった施策により実現した。

